



2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年7月29日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東名
コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 哲也
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 永井 崇 (TEL) 052-963-7501
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	142,094	0.1	10,067	15.2	11,425	14.8	7,420	4.8	6,776	3.8	10,616	△42.1
2024年3月期第1四半期	141,886	—	8,739	—	9,948	—	7,078	—	6,528	—	18,329	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	31.80	31.78
2024年3月期第1四半期	30.63	30.63

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益および希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	806,792	461,725	422,548	52.4
2024年3月期	788,734	457,313	418,562	53.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	100.00	—	26.00	—
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	21.00	—	26.00	47.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の第2四半期末配当金については、当該株式分割前の金額を記載しております。2024年3月期の年間配当金合計については、当該株式分割の実施により単純合算ができないため「—」と記載しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の2024年3月期の第2四半期末配当金は20円00銭、年間配当金合計は46円00銭であります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	290,000	—	22,000	—	23,000	—	15,000	—	70.38
通期	600,000	3.7	48,000	13.6	50,000	10.9	33,000	8.0	154.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	217,243,845株	2024年3月期	217,243,845株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	4,120,823株	2024年3月期	4,120,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	213,123,139株	2024年3月期1Q	213,127,511株

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報)	8
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足説明資料	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しに足踏みが見られるものの、雇用・所得環境が改善する中で引き続き緩やかな回復が続くことが期待されます。一方で世界経済は、米欧の金融引き締め政策の継続や物価上昇、中国の不動産市場の停滞、また、ウクライナ情勢や中東情勢など様々な下振れリスクを内包しております。

このような状況の中、主要需要先である自動車関連の特殊鋼の受注は、中国などにおける販売不振による自動車の生産減少の影響により前年同期比で減少しました。産業機械関連の特殊鋼受注は、回復に一部足踏みの動きも見られますが、ステンレス鋼の受注に関しては前年同期比で増加しています。半導体関連需要は、持ち直しの動きもみられるものの、回復局面のタイミングは下期以降と考えており、その動向を引き続き注視してまいります。なお、自由鍛造品については、航空機産業やエネルギー産業での需要が増加していることにより、受注が大幅に拡大しました。

主要原材料である鉄屑価格は、価格水準としては高位で推移しました。一方で、ニッケル価格は、一時的に供給懸念により上昇しましたが、その後、弱含んで推移しました。原油・LNG市況は引き続き高値で推移したことにより、電力などのエネルギーコストが高位で推移しました。全般的に原燃料価格は高止まりを続けており、徹底したコスト削減および販売価格への反映に継続して取り組み、適正マージン確保に努めております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、清算手続き中の中国磁石子会社で発生した20億16百万円の追加費用を営業利益に含めて計上しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上収益は前年同期比2億7百万円増収の1,420億94百万円、営業利益は前年同期比13億28百万円増益の100億67百万円、税引前四半期利益は前年同期比14億76百万円増益の114億25百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比2億48百万円増益の67億76百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

特殊鋼鋼材

構造用鋼においては、中国における日系自動車販売不振などの影響で需要が減少したことにより前年同期比で数量が減少しました。また、工具鋼に関しては、中国など東アジアにおける需要低迷が継続したことにより、前年同期比で数量は減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における特殊鋼鋼材の売上収益は、売上数量が減少したことにより前年同期比3.2%減少の534億27百万円、営業利益は、原材料やエネルギーコストを販売価格に反映させたことなどにより、前年同期比6億71百万円増益の33億19百万円となりました。

機能材料・磁性材料

ステンレス鋼においては、産業機械関連の需要は低位であるものの回復基調となっていることや、データセンター用のHDD（ハードディスクドライブ）需要の増加などにより、前年同期比で数量は増加しました。高合金は電機・電子関連向け需要の減少により、数量は減少しました。磁石製品は、産業機械関連向け需要などの減少により、売上収益は前年同期比で減少しました。チタン製品は、医療関連など足元では一部在庫調整はあるものの円安の影響もあり、売上収益は前年同期比で増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における機能材料・磁性材料の売上収益は、ステンレス鋼を中心に売上数量が増加したものの、ニッケル市況が前年対比で下落したことにより、前年同期比2.9%減少の496億94百万円となりました。営業利益は、清算手続き中の中国磁石子会社において20億16百万円の追加費用を計上したこともあり、前年同期比5億99百万円減益の29億62百万円となりました。

自動車部品・産業機械部品

エンジンバルブ部品は北米などにおける需要の増加を受け、売上収益は増加しました。精密鋳造品はターボ関連製品の需要が増加しました。型鍛造品はトラック需要の減少などにより、前年同期比で数量は減少しました。一方、自由鍛造品は、航空機需要、重電、掘削関連の需要が堅調に推移し、売上収益は前年同期比で増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における自動車部品・産業機械部品の売上収益は、自由鍛造品の売上収益増加により前年同期比12.8%増加の271億96百万円、営業利益は前年同期比19億26百万円増益の28億円となりました。

エンジニアリング

自動車向けの熱処理設備の工事進捗などにより、当第1四半期連結累計期間におけるエンジニアリングの売上収益は前年同期比8.1%減少の46億16百万円、営業利益は前年同期比2億34百万円減益の2億40百万円となりました。

流通・サービス

当第1四半期連結累計期間における流通・サービスの売上収益は前年同期比12.6%増加の71億59百万円、営業利益は前年同期比4億21百万円減益の7億54百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ180億57百万円増加し8,067億92百万円となりました。総資産の増加の主な内訳と要因は、夏季の電力コストの増加に備えて在庫の備蓄を実施したことによる棚卸資産の増加127億13百万円であります。

また、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の非支配持分を含めた資本は、前期末に比べ44億12百万円増加し4,617億25百万円となりました。資本の増加の主な内訳と要因は、在外子会社の為替換算差額の変動によるその他の資本の構成要素の増加26億53百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益67億76百万円の計上等による利益剰余金の増加12億20百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は52.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れリスクや、ウクライナ情勢の長期化や中東紛争などの地政学リスクを内包した経営環境が継続すると見込まれます。

当社の主要需要先である自動車関連の需要は、足元中国向けの販売不振を受けて減少しており、今後、その動向を注視していく必要があります。産業機械関連の需要は2024年度後半にかけて緩やかな回復が期待され、半導体関連需要については、シリコンサイクルの本格的な上昇局面を見据え、需要が上向きタイミングを見極めていく必要があります。

中長期的な視点に関しましては、2024年6月に「大同特殊鋼グループ2026中期経営計画」を公表しております。半導体、CASE(xEV)、航空宇宙、クリーンエネルギー、医療を中長期的な成長市場として位置づけ、高機能素材の需要拡大を捕捉し、ポートフォリオの変革を進めてまいります。大型の戦略投資としては、渋川工場(群馬県渋川市)に「大型4面鍛造機」を導入し、溶解工程から鍛造工程のプロセスを最新鋭化するなど高合金生産プロセスを抜本的に変革するプロジェクトに着手しております。中期経営計画で掲げた「2026年度 営業利益600億円以上」などの経営目標値を達成できるよう事業運営を進めてまいります。

当期の連結業績につきましては、前回(2024年5月10日)公表した業績予想から大きな乖離はないため、修正は行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	46,008	52,200
営業債権及びその他の債権	170,907	168,486
契約資産	2,803	3,637
棚卸資産	186,717	199,430
その他の金融資産	1,986	2,233
その他の流動資産	7,011	7,486
流動資産合計	415,434	433,475
非流動資産		
有形固定資産	220,030	220,454
使用権資産	5,640	5,863
無形資産	4,958	5,032
投資不動産	4,370	4,338
持分法で会計処理されている投資	20,195	20,372
その他の金融資産	81,699	81,641
退職給付に係る資産	30,826	31,109
繰延税金資産	3,619	3,230
その他の非流動資産	1,958	1,274
非流動資産合計	373,300	373,316
資産合計	788,734	806,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	72,275	75,531
契約負債	1,999	3,184
社債及び借入金	49,698	78,998
リース負債	1,681	1,769
その他の金融負債	1,940	1,903
未払法人所得税	15,237	1,612
引当金	368	2,205
その他の流動負債	27,456	29,731
流動負債合計	170,658	194,937
非流動負債		
社債及び借入金	121,390	108,396
リース負債	3,464	3,611
その他の金融負債	810	797
退職給付に係る負債	13,393	13,339
引当金	3,399	3,382
繰延税金負債	17,102	19,400
その他の非流動負債	1,201	1,201
非流動負債合計	160,762	150,128
負債合計	331,420	345,066
資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	31,411	31,522
利益剰余金	312,243	313,464
自己株式	△3,674	△3,674
その他の資本の構成要素	41,410	44,064
親会社の所有者に帰属する持分合計	418,562	422,548
非支配持分	38,750	39,177
資本合計	457,313	461,725
負債及び資本合計	788,734	806,792

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	141,886	142,094
売上原価	119,605	115,949
売上総利益	22,280	26,144
販売費及び一般管理費	14,123	14,855
その他の収益	581	794
その他の費用	—	2,016
営業利益	8,739	10,067
金融収益	1,339	1,440
金融費用	322	231
持分法による投資利益	192	147
税引前四半期利益	9,948	11,425
法人所得税費用	2,870	4,004
四半期利益	7,078	7,420
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	6,528	6,776
非支配持分	549	644
四半期利益	7,078	7,420
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	30.63	31.80
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	30.63	31.78

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	7,078	7,420
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	8,332	△92
確定給付制度の再測定	512	296
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	50	31
純損益に振り替えられることのない項目合計	8,895	235
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,359	2,925
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△16	△0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	12	36
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,356	2,960
税引後その他の包括利益	11,251	3,196
四半期包括利益	18,329	10,616
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,374	9,421
非支配持分	955	1,195
四半期包括利益	18,329	10,616

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益および業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の取引は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：百万円)

	特殊鋼 鋼材	機能材料 ・磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注) 1	連結 (注) 2
売上収益								
外部顧客への売上収益	55,221	51,169	24,115	5,021	6,358	141,886	—	141,886
セグメント間の売上収益	17,438	4,420	9,474	84	4,380	35,797	△35,797	—
合計	72,659	55,589	33,590	5,105	10,739	177,684	△35,797	141,886
セグメント利益	2,648	3,561	874	474	1,176	8,736	2	8,739

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 営業利益と税引前四半期利益の関係は、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

(単位：百万円)

	特殊鋼 鋼材	機能材料 ・磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注) 1	連結 (注) 2
売上収益								
外部顧客への売上収益	53,427	49,694	27,196	4,616	7,159	142,094	—	142,094
セグメント間の売上収益	18,112	4,641	9,012	156	4,638	36,560	△36,560	—
合計	71,539	54,336	36,208	4,772	11,797	178,654	△36,560	142,094
セグメント利益	3,319	2,962	2,800	240	754	10,077	△10	10,067

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 営業利益と税引前四半期利益の関係は、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりであります。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費及び償却費	7,523	7,384

3. 補足説明資料

(1) 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	実績			25/3通期予想 (24/5/10公表)	
	前四半期 23/4-6	当四半期 24/4-6	前年同期差 (増減率)	通期 24/4-25/3	前期差 (増減率)
売上収益	141,886	142,094	207 (0.1%)	600,000	21,435 (3.7%)
営業利益	8,739	10,067	1,328 (15.2%)	48,000	5,749 (13.6%)
税引前利益	9,948	11,425	1,476 (14.8%)	50,000	4,931 (10.9%)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	6,528	6,776	248 (3.8%)	33,000	2,444 (8.0%)
鋼材売上数量 (単体)	266千t	262千t	-4千t	1,080千t	8千t

(2) セグメント別売上収益・営業利益

(単位：百万円、%)

	実績				25/3通期予想 (24/5/10公表)			
	売上収益		営業利益		売上収益		営業利益	
	当四半期 24/4-6	前年同期差 (増減率)	当四半期 24/4-6	前年同期差	通期 24/4-25/3	前期差 (増減率)	通期 24/4-25/3	前期差
特殊鋼鋼材	53,427	-1,793 (-3.2%)	3,319	671	225,000	6,256 (2.9%)	12,500	-1,224
機能材料・ 磁性材料	49,694	-1,474 (-2.9%)	2,962	-599	210,000	7,615 (3.8%)	20,500	10,224
自動車部品・ 産業機械部品	27,196	3,080 (12.8%)	2,800	1,926	115,000	10,003 (9.5%)	11,000	5,280
エンジニア リング	4,616	-404 (-8.1%)	240	-234	20,000	-3,091 (-13.4%)	1,500	-636
流通・ サービス	7,159	800 (12.6%)	754	-421	30,000	652 (2.2%)	2,500	-7,869
調整	—	—	△10	-13	—	—	—	-26
計	142,094	207 (0.1%)	10,067	1,328	600,000	21,435 (3.7%)	48,000	5,749

(3) 営業利益増減要因

当四半期の営業利益増減要因 (前年同期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	34	1. 販売価格下落	28
2. 内容構成差他	23	2. 一過性損益	20
3. 販売数量増加	11	3. 変動費悪化	6
計 (a)	68	計 (b)	54
		差引 (a) - (b)	14

(参考) 原料・為替市況

	前四半期 23/4-6	当四半期 24/4-6
H 2 建値 (千円/t)	42.6	44.5
ニッケル (LME) (\$/1b)	10.2	8.3
為替レート (TTM) (円/\$)	137.4	155.9

(4) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前期 24/3末	当四半期 24/6末	前期差		前期 24/3末	当四半期 24/6末	前期差
流動資産	<u>415,434</u>	<u>433,475</u>	<u>18,041</u>	負債	<u>331,420</u>	<u>345,066</u>	<u>13,645</u>
現預金	46,008	52,200	6,191	営業債務	72,275	75,531	3,256
営業債権	170,907	168,486	-2,420	有利子負債	176,235	192,775	16,539
棚卸資産	186,717	199,430	12,713	その他	82,910	76,759	-6,150
その他	11,800	13,357	1,556				
非流動資産	<u>373,300</u>	<u>373,316</u>	<u>16</u>	資本	<u>457,313</u>	<u>461,725</u>	<u>4,412</u>
有形固定資産	220,030	220,454	423	親会社の所有者 に帰属する持分	418,562	422,548	3,985
その他	153,269	152,862	-406	非支配持分	38,750	39,177	426
資産合計	788,734	806,792	18,057	負債資本合計	788,734	806,792	18,057